

平成29年度 事業計画

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして水生生物のスペシャリストを養成。学生、保護者、学校、地域、関連業界の皆様へ支持され愛される学校を目指します。



本校は、昨年度開校40周年を迎えました。節目の50周年に向けて、近年、急速にグローバル化する企業・業界のニーズに対し、専門学校の特徴を前面に出した質の高い教育を目指し

ます。さらに、文部科学省が推進する高度職業実践の高等教育機関創設という将来展望に対し、柔軟に対処できるよう、将来性を意識した学校運営に取り組んで参ります。

重点施策としては、

1. 業界団体の意見や要望に応え得る人材育成のために、職業人育成に主眼を置き、教育内容の改善を行います。
2. 「職業実践専門課程」を有する学校として、業界団体等が行う技術研修への教員派遣を積極的に進め、教員の資質向上に努めます。
3. より実効性のある教育体制を構築するために、教員組織の改善に取り組みます。
4. 変遷する社会のニーズを真摯に受け入れるべく組織した将来構想検討会議の協議・検討内容を校内組織に浸透していきます。
5. 本校の価値を伝えるという意識を全教職員が共有し、学校ブランディング効果を上げます。

岡山理科大学専門学校 校長 奥田宏健

教育の充実

■動物系学科の改組・再編について

- (1) トリミング学科とドッグトレーニング学科の再・改編を行い、学生募集に繋がります。特に、ドッグトレーニング学科を市場のニーズに対応して改編するとともに、広く動物の管理・共生に配慮したカリキュラムとします。
- (2) 既存認定学科の更なる教育の質向上に努め、認定効果を広くPRして、学校の存在価値と評価を高めます。

■教育課程の再編

- (1) 全学科の教育課程変更に伴うシラバスの改定を行います。
- (2) 動物看護学科3年制(高度看護医療・臨床検査コース)において、新たな資格取得を行い、職域を更に拡大することを計画します。

研究の充実

■産官学連携の教育

- (1) 関連団体等主催の各種研修会への教職員派遣を推進し、最新の技術や知識を修得させ、教員個々の研究力向上を図ります。
- (2) 校内倫理委員会を設け、獣医療研究を推進します。

学生支援

■生活支援

- (1) カウンセラーの在校頻度を高め、学生の心のケアサポートに努めます。
- (2) 学校便り（R i S E N通信）を年2回発刊し、保護者へ郵送することで、保護者の学校理解を促進します。

■修学支援

- (1) 資格試験に向けた補講・補習に努めます。
- (2) チューター制を活かした学習相談の充実を図ります。

■就職支援

- (1) 一部の学科にはカリキュラムの中にキャリアデザインを開講し、職業人意識の高揚を図ります。
- (2) インターンシップを促進し、就職のミスマッチをなくすと共に就職の機会を拡大します。
- (3) 卒業生の就職先を訪問し、事業者と卒業生の声に耳を傾け、早期離職者の低減に努めます。

・ 就職活動ガイダンス

1 年生	4 月	キャリア教育講座 インターンシップ講座(1)(動物看護)
	6 月	職業理解と労働法規講座 インターンシップ講座(1)(トリミング、ドッグトレーニング)
	12月	履歴書の書き方講座(1)(アクアリウム)
	1 月	履歴書の書き方講座(1)(建築、動物看護、ドッグトレーニング、トリミング) インターンシップ講座(1)(トリミング、アクアリウム)
	2 月	合同企業説明会参加マナー講座(1)
2 年生	4 月	履歴書の書き方講座(2)(建築) 面接講座 インターンシップ講座(2)(動物系各学科)
	5 月	合同企業説明会参加マナー講座(2) 内定礼状の書き方講座(トリミング)

2 年生	6 月	内定礼状の書き方講座(建築、動物看護、ドッグトレーニング、アクアリウム)
	7 月	合同就職面接会参加マナー講座(3)

■留学生支援

日本語教科書の読解のサポートと日常生活支援に努めます。

社会連携・社会貢献

■地域動物医療への貢献

校内の臨床検査室を充実させ、地域の動物病院からの各種臨床検査要望に応えます。

■地域との交流

地元地域の行事に積極的に参画し、学生によるボランティア活動を推進します。

教育研究環境

■施設の充実

- (1) 学生利用施設の点検・補修に努め、快適な生活環境の充実を図ります。
- (2) 学校入り口の環境美化を実践します。

学生の受入

■受験生との接触機会の拡大

- (1) 資料請求実績の高い地域・高校での進学説明会へ参加し、直接的なPRを行います。
- (2) SNSなどを利用したスマートフォン向けの情報発信を行います。
- (3) 高い就職実績と資格取得率のタイムリーな情報発信します。
- (4) 社会人学生の受入を推進するための媒体を活用します。

- (5) オープンキャンパスにおいて、在校生を活用した学校PRの強化を目指します。

内部質保証

■FD・SD

- (1) 校内教職員研修規定に則り、教職員研修を推進し、教職員の資質向上と人脈の拡張に努めます。
- (2) コンプライアンスの徹底を図ります。
- (3) 本校の価値を測定し、価値を高める施策により、教職員の学校ブランディング効果を上げるように意識の共有化を図ります。

その他の取組

■効率よい授業展開

授業担当者の見直しを進め、校内の人的資源を有効に配置することで、教育内容の向上に努めます。

主な行事予定

4月8日	入学式
4月10月、 11日	オリエンテーション（夜間部） オリエンテーション（昼間部）
4月13日	授業開始（夜間部） 授業開始（昼間部）
6月15日	球技大会
7月18日 ～8月19日	夏季休暇
9月4日 ～8日	前期末試験 （夜間部は9/9まで）
10月2日	後期授業開始
10月21日 22日	R i s e n祭
12月23日 ～1月6日	冬期休暇
1月29日 ～2月2日	後期末試験 （夜間部1/29～2/3）
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成29年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	40	80	82
	建築学科(夜間部)	20	14	40	34
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)		—	—	—
	計	60	54	120	116
商業実務 専門課程	映像情報学科 (募集停止)		—	—	—
	計	(募集停止)	0	0	0
文化・教養 専門課程	動物看護学科 3年制	30	7	90	19
	〃 2年制	20	26	40	51
	トリミング学科	40	23	80	43
	ドッグトレーニング学科	40	28	80	48
	アクアリウム学科	40	30	80	68
	計	170	114	370	229
合計		230	168	490	345
専攻科 研究科	建築学科専攻科	10	13	10	13
	動物系総合学科研究科	10	14	10	14

(単位：人)

■教職員数

(平成29年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計	事務職員
1	0	11	12	

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

年度		29年度	前年度
科目		予算額	決算額
教育活動収支	収入		
	学生生徒等納付金収入	304,896	315,387
	経常費等補助金	250	64
	その他収入	15,327	63,420
	計	320,473	378,871
支出	人件費	198,607	228,546
	教育研究経費	73,073	73,051
	管理経費	32,552	27,687
	その他支出	0	0
計	304,232	329,285	
教育活動収支差額		16,241	49,587
教活外	収入		
	受取利息等	10	1
	支借入金利息等	474	246
教育活動外収支差額		△464	△245
経常収支差額		15,777	49,341
特別	収入		
	資産売却差額等	0	193
	支資産処分差額等	0	△12
特別収支差額		0	205
基本金組入前収支差額		15,777	49,546
基本金組入額合計		△14,989	△24,257
当年度収支差額		788	25,289

■施設設備計画

(単位：千円)

事業名	金額
第三校舎2階 ピロティー仕切り工事	1,000